

# 衛生委員会だより 2024年7月

## ～アルツハイマー型以外の認知症ついて～

### 血管認知症

認知症のなかでもアルツハイマー型認知症に次いで多いのが、脳卒中が原因で起こる「血管性認知症」です

#### ◆血管性認知症の原因は脳卒中◆

脳の血管が詰まる脳梗塞や脳の血管が破れる脳出血などの脳卒中が原因で起こります。

#### ◆脳卒中が起こったあとの変化に注意◆

脳卒中が起こってから3か月以内に症状や行動の変化が現れやすいとされています。以前と様子が違うと感じたら、脳神経内科や脳神経外科を受診しましょう。

また、歩きにくい、しゃべりにくい、のみ込みにくい、トイレが近いなどの症状が強くなった場合もお勧めします。

#### 血管性認知症の 典型的な初期症状の例

初期症状は脳卒中が起こってから3か月以内に現れやすい。脳卒中で脳の組織が障害されると、以前よりも頭の回転が遅くなるが、初期のころは判断力や知識などは保たれていることが多い。



料理などの作業を段取りよく進めることができない。



以前よりボーンとしている時間が長くなる。

#### ■予防

食生活の見直しや、適度な運動、抗血栓薬などの脳卒中予防の薬をのむなどして、脳卒中のリスクとなる「危険因子」への対策に取り組みましょう

#### 脳卒中の危険因子と対策

